

SDGs実践ツアー
～CO₂の新たな吸収源～

美ら島沖縄 ブルーカーボנקルーズ

Blue Carbon Cruise



水中観光 × CO₂ 吸収源を見える化

海中 CO₂濃度測定器を搭載した水中観光船でのクルージング。
船内のモニターで海中 CO₂濃度の変化をリアルタイムに確認
することで、ブルーカーボンを実感できます。

サンゴは「硬い骨格のハードコーラル」と「柔らかい骨格のソフトコーラル」に大きく分類することが出来ます。
ソフトコーラルは細かい石灰質の骨格をバラバラの状態で保持しているので柔らかく、光合成による栄養をより多く必要としている
のが特徴です。ブルーカーボン生態系といわれる海の主なCO₂吸収源は、海藻藻場、湿地、干潟、マングローブ林とされていますが、
マリン観光開発では海中CO₂濃度を測定し、ソフトコーラルを中心としたサンゴの群生もCO₂を吸収しているブルーカーボン生態系で
あることを、現在水中観光船を用いて実証中です。

また、水中鑑賞ポイントに海洋生物育成ブロックを設置し、海藻、サンゴなどの定着率をモニタリングしています。

マリンスター



【船の種類】 半潜水式水中観光船

【重量】 19t 【全長】 20m 【最大搭載人数】 58名

ハーモニー



【船の種類】 高速水中観光船

【重量】 19t 【全長】 21m 【最大搭載人数】 70名

料金

【大人 (12 歳以上)】 3,000円 【小人 (12 歳未満)】 1,500円 【幼児 (3 歳未満)】 無料

出航 時間

10:00発／11:00発／13:00発／14:00発

※料金、出航時間に変更させていただく場合がございます。

※チャーター運行ご希望の際はお問い合わせください。

※最少催行人数 5 名／出航 15 分前集合

※悪天候の場合は催行中止

※海中 CO₂濃度測定ご希望の場合は事前にご連絡ください。

主催：マリン観光開発
沖縄県那覇市泊3丁目14番地5
TEL:098-869-2241 FAX:098-862-8841
<https://www.marinenetwork.co.jp>

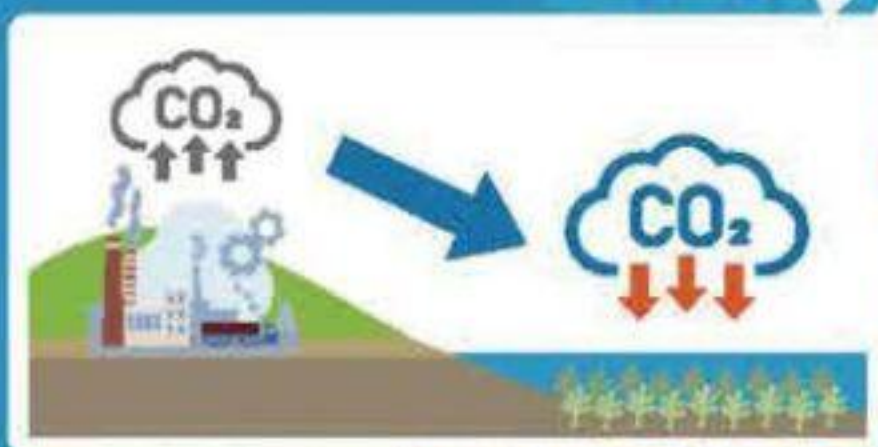
JBE

協力：ジャパンブルーエコノミー技術研究組合
沖縄県横須賀市長瀬3丁目1番1号
港湾空港技術研究所内



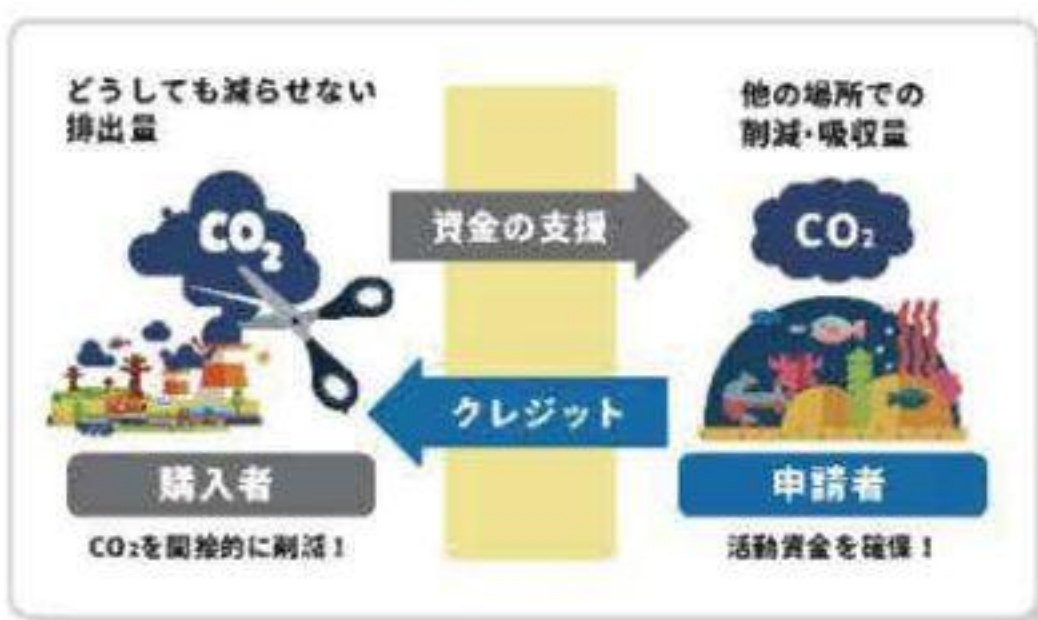
ブルーカーボンとは？

「ブルーカーボン」とは、海藻や海草、マングローブなどの生態系に吸収・貯留される炭素のこと。光合成により取り込まれた大気中のCO₂は海洋中に長期間隔離・貯留できるため、気候変動の緩和に役立つ炭素吸収源として世界的に注目されています。



— ブルーカーボン・オフセット制度 —

我が国では、ブルーカーボン生態系の保全・拡大を促進させるため、ブルーカーボン・オフセット制度が構築され「J-ブルークレジット」の認証を受けられるようになりました。「J-ブルークレジット」とはブルーカーボン生態系によって吸収・貯留される炭素を定量化し、取引可能な形態としたものであり、申請者はクレジット売却による活動資金の調達、購入者はCO₂削減によるカーボンニュートラルへの貢献が可能となります。



しかし…

日本ではブルーカーボンによるCO₂削減量は研究者を中心に進められているものの、確実性を高めることが課題となっています。

確実性を高めるためには、大気CO₂吸収量を直接的に測定できる

高精度な海水中のCO₂濃度のデータを蓄積していくことが必要になります。

マリン観光開発の「ブルーカーボンクルーズ」

貴重な海水中CO₂のデータを集めながら、サンゴ礁の水中観光を行っています。合わせて海水のCO₂濃度をリアルタイムでお客様にご案内し、ブルーカーボンの吸収を実感していただきます。マリン観光開発はブルーカーボンの認知をより拡充できるよう啓蒙活動を行っています。

